



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第三一八号）

啓蟄 けいちつ

三月五日

度会の獅子舞

一月から二月にかけて、伊勢志摩地域で行われる獅子舞「御頭神事」おかしらしんじ。今年
は伊勢市に隣接する度会町で拝見しました。

宮川左岸の棚橋たなはしコミュニティセンターでは、昼間に座敷舞が披露されます。
棚橋の獅子頭は大量の紙垂しでがつけられ、そこに鈴が仕込まれています。その
ため、頭を動かすと、鈴の音が鳴る仕組みです。楽器は太鼓のみ。太鼓の音
に合わせて、見学の小さな子どもも足踏み。ほほえましい光景に出会いまし
た。

地元の人たちは、風呂敷包みを持ってきました。そこには小さな鏡餅が入っ
ており、受付で渡すと、世話人が半紙にくるみ、獅子舞の座敷に納めます。
座敷にはお神酒も奉納されていました。

宮川右岸の一之瀬では、午前中に各集落をまわり、午後から一之瀬神社例
大祭に合わせ、神域で四つの地区が獅子舞を奉納します。ここでは「獅子神楽」
と呼ばれます。驚いたのは、脇出地区わきでと市場地区いちばの二つの地区が参道をはさ
んで同時に行っていること。見学者は両方見ることができるので退屈はしま
せん。

一之瀬の獅子神楽は、獅子頭と天狗てんぐの舞があり、笛や太鼓に合わせ、神楽
歌が歌われます。地区によって少しずつ歌も舞も異なります。「それが面白
い」と常連のカメラマンが教えてくれました。獅子舞が終わると、囃子はやしかた方も
見学者もお多福やひよっとこに扇子で頭をぼんと叩かれるのが脇出地区の恒
例。来年はどこを拝見しようか、すっかり獅子神楽に魅了されました。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 五十鈴川桜まつり

新緑の朝熊山を背景に、対岸の桜を眺めながら、お花見料理で華やかに、夜桜のライトアップでしっとりとお花見していただきます。

五十鈴川の桜と一緒に、うらかな春のひとときをお過ごし下さい。

と き / 4月上旬 (桜の咲く頃) 10:00～
ところ / 五十鈴川河川敷周辺

● 花見屋台

田楽や団子などの屋台が並びます。赤毛せんの敷かれた縁台に腰をおろし、のんびりとお過ごし下さい。

● 夜桜のライトアップ

日没より、五十鈴川新橋周辺の夜桜をライトアップします。風のない日は、五十鈴川の水面に映る美しい桜もお楽しみください。

と き / 満開の頃 19:00～21:00

※雨天時は中止させていただく場合もあります。予めお問い合わせの上、お越しください。

五十鈴塾

○ 戦国貴族の生き残り戦略⑥

国学院大学図書館所蔵「久我家文書」に含まれる戦国時代の古文書を読み解くことで、戦国時代を生き抜いた公家貴族たちの苦悩と「したたかさ」についてお話しています。第6回は文明7年(1475)の「室町幕府奉行人奉書」などを読みながら、荘園年貢から洛中の営業課税へとシフトしていく貴族収入の変化を見ていきます。中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!!(参考文献として、岡野友彦著『戦国貴族の生き残り戦略』をご購入いただけます。)

と き / 3月9日(月) 13:30～15:00

講師 / 岡野 友彦 (皇學館大学文学部長)

参加費 / 一般1,350円 会員850円

集合 / 五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

はるがすみ

春霞

羊羹と浮島で、草木が芽吹く山々をかたどり、陽炎もかすかに立ち昇る、春霞の景色を表しました。

さわらびじょうよ
早蕨薯蕷

春の色そのままに、薯蕷生地を淡い緑で染めました。うらかなに続く、里の弥生を思わせるかのようです。

さほひめ

佐保姫

粒餡を雪平と羊羹で包み込み、この時季の気分を喜びとともに、みやびの心で表現しました。